

## singing color dancing cloth

千本木晴は、展示作品から鑑賞者までを含めた展示空間が一つになるような装置としてのテキスタイルの形を模索するアーティストです。「wall(2019)」や「ここちよいひのかたちⅡ(2020)」のようなテキスタイル表現により日常空間を軽やかに変質させることを試み、「私と日常のすき間を泳ぐ色(2021)」では空気中に漂う色や光を布に染めつけていく感覚を作品へと展開しました。2018年から通崎睦美さんの衣装制作にも携わり、本展は、5月23日に開催される通崎睦美コンサートとゆるやかに結びついた展示になります。

(KUNST ARZT 岡本光博)



私と日常のすき間を泳ぐ色  
2021  
ろうけつ染め・ろう引き他

1997年 福岡県生まれ  
京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程染織専攻 在籍

### <グループ展ほか>

- 2018/9 「きるもの展」(GALLERY GALLERY/京都)
- 2019/7 「交わる色、いつかは解ける」(マロニエ/京都)
- 2020/9 「/new normal」(ギャラリー bonton./芦屋)

### <衣裳制作>

- 2018/11 通崎睦美コンサート  
「今、甦る!木琴デイズ vol.10 ~木琴博覧会へようこそ~」(京都文化博物館 別館ホール)
- 2019/5 通崎睦美コンサート  
「今、甦る!木琴デイズ vol.11 ~木琴は歌う~」(京都文化博物館 別館ホール)
- 2019/11 通崎睦美 木琴リサイタル (銀座王子ホール)
- 2020/7 通崎睦美コンサート  
「今、甦る!木琴デイズ 番外編 ~室内楽の愉しみ~」(京都文化博物館 別館ホール)
- 2020/10 通崎睦美コンサート  
「今、甦る!木琴デイズ vol.13 ~アマリリスのある風景~」(京都文化博物館 別館ホール)

2021年6月8日(火)から13日(日)

12:00から18:00

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都東山区三条神宮道北東角 2F

singing color dancing cloth

アーティストステートメント

染料が染み込んだ布を通して日常の景色を覗くと、光や色などのあらゆる情報がより濃く感じ、その空間と自分が一体となったように錯覚する。布の上に広がる色が、空間と自分を繋げてくれる。その感覚と心地よさを頼りに、見る人と作品をはっきりと区別せず、空間と一体となるような装置としてのテキスタイルの形を模索する。



私と日常のすき間を泳ぐ色

2021  
京都市立芸術大学  
ろけつ染め  
反応性染料・綿  
オーガンジー・ろう・ビ  
アノ線  
軒とそ  
生を逆  
に心  
は  
で  
た。  
つ  
く  
像  
で  
に  
験  
う  
を  
来  
見  
ま  
覗  
く  
想  
像  
を  
し  
ら  
な  
な  
よ  
暖  
な  
と  
作  
品  
と  
試  
み  
景  
を  
か  
か  
な  
な  
に  
が  
あ  
る  
よ  
う  
に  
と  
ど  
く  
間  
に  
り  
が  
う  
る  
人  
の  
由  
り  
よ  
う  
に  
見  
え  
る  
隙  
間  
に  
は  
私  
の  
こ  
ろ  
に  
あ  
る  
よ  
う  
に  
表  
現  
し  
て  
い  
た  
と  
思  
う  
。  
今  
は  
こ  
の  
よ  
う  
な  
表  
現  
を  
し  
て  
い  
た  
と  
思  
う  
。  
こ  
の  
よ  
う  
な  
表  
現  
を  
し  
て  
い  
た  
と  
思  
う  
。  
こ  
の  
よ  
う  
な  
表  
現  
を  
し  
て  
い  
た  
と  
思  
う  
。



wall

2019  
京都市立芸術大学  
シルクスクリーン  
発泡バインダー・ポリエステルジャージー・ベロア  
既存の大学構内を錯視を利用したテキスタイルであふれる空間にした。



こちよひのかたち II

2020  
京都市立芸術大学  
シルクスクリーン・ろうけつ染め  
反応性染料・綿オーガンジー・木材  
日常生活で見つけた心地よさを室内に取り込み、その感覚を共有する空間づくりを試みた。